

議事録兼報告書

課用

| | |
|---|-------------------------------------|
| 会議等名称 | 平成21年度 第1回 伊那市保育園運営協議会 |
| 日 時 | 平成21年 6月5日(木) 18:30~20:00 |
| 場 所 | 庁議室 |
| 欠 席 者 | |
| 議 題 | 伊那市保育園運営の現状について 保育料の改定、保育料体系一元化について |
| 議 事 内 容 | |
| <p>(文中敬称略)</p> <p>1 開 会 (部長)</p> <p>2 あいさつ (伊那市長)</p> <p>3 委嘱書交付 (伊那市長より)</p> <p>4 自己紹介</p> <p>5 会長選出 (会長・副会長就任あいさつ)</p> <p>6 協 議 (進行: 会長)</p> <p>(1) 伊那市の保育園運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(資料No.1) 伊那市保育運営協議会要綱 ・(資料No.2) ・伊那市保育園一覧表(平成21年度)・H21園児数・H20保育園運営の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・H21保育園運営の計画・H20保育園災害状況・H21保育園月間目標 ・伊那市保育園食育年間計画・富県保育園配置図、平面図、立面図 ・西箕輪地区新保育園配置イメージ図 <p>(事務局より資料説明)</p> <p><質疑・応答></p> <p>(委員) 子どもの災害状況で転倒とあるが、床が滑るということが原因となっていないか。また、富県保育園の平面図で、学校側に面した園舎が直線ではなく、不審者の隠れる場所となる恐れがあるのではないかと。</p> <p>(委員) 美篤保育園に何度か行ったが、床が滑るという印象はなかった。ただ、設計上転倒しやすい環境にはなっていると感じる。</p> <p>(→事務局) 富県保育園については、すでに建築に入る段階まで来ているので、変更はできないが、今後建設予定の保育園については、ご意見を参考に十分検討していきたい。転倒については、今後状況の分析をして、災害の減少となるよう対策をとっていきたい。</p> <p>(委員) 新山保育園について、休園という言い方は聞こえがいいが、今後入園希望が20人になるということは、まず考えられない。いつまで休園とするのか。</p> <p>(→事務局) 地元の区長さん方は、現状でもう一年という希望だが、実態としては10人程の人数で</p> | |

は運営ができない状況であり、休園とさせてもらった。地元の方々は、何とか20人にして復活させたいと思っている。今後も地区の方との話し合いで進めていく。

(2) 保育料の改定について

- ・(資料№.3)・保育料第3子無料化について・伊那、高遠、長谷3地区の保育料体系一元化に係る保育料徴収基準額一覧の改定に伴う年間影響額・改定に伴い負担増となる園児(19世帯23人)

(事務局より資料説明)・3人以上が保育園、または幼稚園に入園している場合、第3子の保育料を現状の10分の1から無料とする。対象者は17名で、4月にさかのぼって実施する。

- ・3市町村合併時、保育料にかなりの差があったが、これまで保育料の高い伊那市の減額をし、19市の中で最低水準となったためこの7月から保育料体系を一元化し、同じ料金とする。高遠、長谷地区で今までの保育料より高くなるお子さんは23人で、200円から5000円の増額となる。対象となる家庭には通知でお知らせし、個別に了解を得る予定。この件については、前年度2月の保育園運営協議会にて諮問、答申している。

(3) その他

<その他の質疑・応答>

(委員) 報酬、交通費の支払いについて、その都度ではなく、一年分まとめてよい。

(委員) 保育園の視察をし現場を見ると、さまざまな工夫がされているという努力も解ったり、また、問題点等も出せるので、視察を行うことはよいと思う。

(委員) 昨年まで毎年保育料の論議をしてきたが、保育料よりも保育の質が重要。昨年保育の質を向上させる目的で保育士が取り組んでいる会の保育発表会を開催した。今年度も開催されると思うが、是非、発表のための保育活動とならないように取り組んでほしい。

(委員) この協議会の要綱、第2条に保育形態に関する事、保育内容に関する事とある。保育形態に関しては未満児保育、病後児保育等いろいろあるが、今後は病児・病中保育を進めてほしい。実際困っている家庭が多くはないがある。病後児保育も実施している西箕輪診療所は市内の中心地ではない。今後この会でも議論していきたい。また、保育園はただ預かるだけでなく、保護者と一緒に育てるという意識をもってほしい。

保育料は、前年度の所得割で算定されるが、現在の経済情勢、雇用状況では、保育料の納入が厳しい家庭がある。現在の状況に応じた保育料の設定はできないか。逆の事例も確かにある(昨年高かったが今年度安くなった)が、今年は仕事がない等、今困っている人が多い。

(委員) 保育料について、収入減の家庭に補助が出ないのか、実態を知りたい。また、新支援センターが高遠から美篤東部保育園に移ったが状況はどうか。伊那市は自然豊かな町だが、各保育園で自然環境を生かした保育の実態を知りたい。自然体験の表ができないか。(10月)

(→事務局) 美篤支援センターは、高遠地区の親子だけではなく市内の各地から来ており幅広い交流ができるのではないかと期待できる。自然を生かした保育も各園で工夫して進めている。地産

地消も地域の方のお力を借りて多く取り入れていきたい。

(委員) 収穫した野菜を是非保育園の子どもたちに食べさせてあげたいと思い持っていったら、いい思い出になったと大変喜んでもらった。子どもと一緒に畑作りなど、積極的に交流をしていきたいと思っている。

(委員) 昨年度2月に保育士により行った「保育発表会」は大変よい取り組みで、今年度も楽しみにしている。子どもにとって体験が大事。今、各保育園で進めている地域運営委員会もそれぞれの地域によって違いはあるが、駆け足でなく、地産地消のみでなくおらほの保育園だいう声が出るような交流・体験ができるよう進めていきたい。

4 閉会